

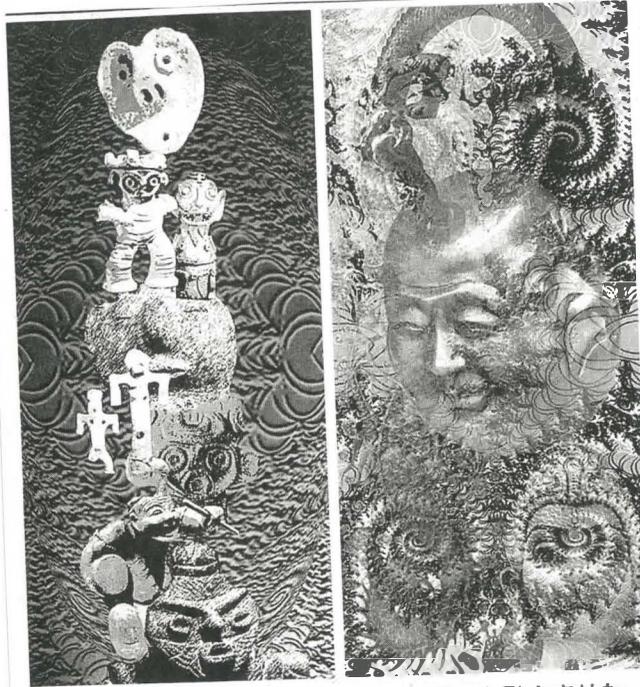
日本への理解深めて

土佐尚子さん シンガポールで個展

メディアアート

メディアアーティストの将
 来の土佐尚子さん(49)
 京都大学芸術情報メ
 ディアセンター教授
 が来月2日から、シン
 ガポールの日本大使館
 ジャパン・クリエイテ
 イブセンターで「文化

のビットとアートの將
 来形を考える」と題し
 たシンポジウムや個展
 を開く。経済発展に伴
 いメディアアートへの
 関心が急速に強まるシ
 ンガポールで、新しい
 芸術の方向を探る。



㊦アジアの神様とコンピューター画像を融合させた「デジタル掛け軸」 ㊧トーテムポールをイメージした「デジタル掛け軸」＝土佐教授提供

「などユニークな作
 品を発表してきた。
 シンガポールではこ
 うした作品に加え、ア
 ジアの神様などの姿と
 コンピューターで描い
 たカオス(混とん)を
 融合させたデジタル絵
 画を和紙に刷り上げた
 「デジタル掛け軸」な
 ど、新たな作品類も展
 示する。

土佐さんは「今はい
 くつものに分かれている
 文化も、人類の無意識
 の深い次元では一つに
 つながっている。それ
 をコンピューターでつ
 なげる手法が「デジタ
 ルビット」です。日本
 の優れたメディアアア
 トを発信し、日本への
 理解を深めてもらいた
 い」と話している。

【榊原雅晴】